

2025年度第1回代表幹事会 議事録

縣陵東京同窓会

1. 日時：2025年5月11日(日) 10:30 ~ 12:00
2. 場所：Zoomによるweb会議
3. 参加：久保田会長、山岸副会長、小松副会長、百瀬幹事長、福井総務委員長、松澤事務局長、森本総会支援委員長、脇川財政委員長、小林会計委員長、衣袋縣陵レディース委員長、伊藤渉外委員長、二木次世代委員長、濱田メディア戦略推進委員長、岡田実行委員長 14名参加
4. 議事

(1) 東京同窓会の財政状況について（百瀬幹事長）

(2024年度決算資料・2025年度予算資料に基づき説明、詳細は資料を参照)

- ・ 2024年度末の特別会計の資金残高：720万円
- ・ 2025年度予算では、特別会計の終身会費残高から100万円の資金移動が必要で、この状態が続くと7年間で特別会計の資金残高が消滅する状態にある。
- ・ 資金不足となる大きな要因は以下の通り。

会報あがたの収支：広告費収入61.5万円、発行費用84.7万円、▲23.2万円

委員会関係費用の増加：▲22万円

幹事会関係収支：収入36万円、支出70万円、▲34万円

総会懇親会の関係収支：6万円を予定

- ・ 従って、今後、以下の対策が必要になるので、代表幹事会や幹事会で議論していきたい。
- ① 会費(終身会費・年会費)の納付促進策の検討、会費納付者の管理・共有方法の検討、来年の会報送付者の特定方法の検討が必要。
終身会費納付者：約700人(毎年10人前後の支払)
年会費納付者：約100人/年が支払 ※会員数：約2,600人
 - ② 会報あがたの広告代の値上げの検討、発行費用(製作費・印刷費等)の諸費用の削減が必要。(発注先の見直し、相見積もり等で半減を目指す)
 - ③ 幹事会の会場として喜山倶楽部の使用を止めて、貸会議室・濱田さんの日本橋スタジオなどの利用(15名前後)を進める(喜山倶楽部クラブ：約20万円、貸会議室：5-6万円)ことで経費の削減を図る。
 - ④ 各委員会経費も予算額全額を使用するのではなくゼロベースで必要性を考えて効率運営に努めていく必要がある。

※ 全員一致で財政状況を認識したうえで、以下の事を進めていくこととした。

- ・ あらゆることについて、無批判に前例踏襲することなく、今新規で始めるのだけ

たらどういう方法でやるのか、いくらのコストをかけられるのかとすることをゼロから考えて行く。

- ・ 総会懇親会の予算について、現在は「+ゼロ」を前提としているが、来年からは「+20~30万円」を目指すこととするかどうかを検討していく。
- ・ 幹事会は貸会議室などを使用することとするが、Zoomでも参加できるようにする。(森本)
- ・ 会報関係の収支改善について
 - 広告費のアップ、HPの活用での収入増加対策を検討していく。
 - 制作費等の削減策(半減できないか)を検討していく。
- ・ 会費納付の促進策については、以下のことを中心に継続して検討していく。
 - 同窓会費を払いたくなる活動とは何かの検討を進めていく。
 - 同窓会活動の参加者は会費納付者と未納者で参加費に差をつけることとする。例えば、総会懇親会の参加費は会費込みとし、納付者は2,000円引きとする。(参加費15,000円だが会費納付者は2,000円引きなど)
 - 縣陵レディースの参加者も会費納付者に限定することを考えている。
 - 参加費に差をつける場合、会費納付者の管理ができていくことが前提になる。
 - ➔ 財政委員会と事務局で管理と共有化の具体的方法案を次回迄に作成する
 - 会費納付の確認は、どのくらいのタイミングで可能か。
 - HP等で確認できる方法はあるか。
 - 会員名簿(Excel)の共有化がGoogleの共有ドライブで可能かを検討する
 - ➔ 事務局も会報送付者の管理が必要になる。
 - いつの時点の納付者を対象にして判断するかの検討が必要となる。
 - ➔ 会費を口座自動引き落としで出来るようにすることも検討する
 - いつの時点で会費を納めていたら良いのか整理する必要がある。
- ・ 学年幹事の活用方法を検討する。(現在は、実質的に機能していない)

※ 名簿の管理方法について、事務局と財政委員会で具体案を作成してもらい、次の代表幹事会でその案をベースに再検討することとした。

(2) アンケートで入手した「勤務先情報」の活用方法について

- ・ 勤務先情報を入手する目的：
 - 業種別の懇談会等のイベントで使用、就活・仕事相手探しの参考にする、
 - 母校と連携(会社訪問、OB/OG訪問、専門知識の入手)して会員を囲い込む、
 - 母校の教師は繁忙を極めているので先生方を支援する
 - 大学生・就活生への業界情報等の提供、卒業生の名簿入手、
 - 人材バンクとしての使い方など

- ・ 入手した情報の管理方法の検討が必要
- ※ 引き続き、情報の利用・管理方法について協議を進めていくこととした。

(3) 第 58 回総会懇親会の準備状況について(岡田実行委員長)

- ・ GW があったが、24 日の幹事会に向けて準備を進めている
- ・ 母校愛のリレー (4/) にも 10 名ほど参加して動員を掛けてきた
- ・ 前回の幹事会で着席をくじ引きで決めるとしたが、再検討しているので、次回の幹事会で再度確認したい。
- ・ 会費納付を前提として参加費を払ってもらうことを考えたい。会費未納者には会費納付を依頼する。
- ・ 来年度からは、会費納付者と未納者とで参加費に差をつけることを案内に明記することとする。
- ・ 松本の愛のリレーに参加したが、同窓会の方が冷めているという印象を受けた。参加者も、同窓会長・事務局長ほか 2-3 名しかいなかった。松本同窓会との連携と情報共有を深めていきたい。

※ 200 人超の方々には参加して欲しいので、役員の方も積極的に動員を掛けて欲しい。

※ また、多くの方に「参加して良かった」と思ってもらえるような「おもてなし」をお願いする。

※ 参加したくなる同窓会にすべく、引き続き協議を進めていく。

(4) 建設委員会について(福井総務委員長)

- ・ 5 月 13 日に建設委員会があり、その場で意見を言いたいが、まだ Zoom 案内が来ていない。
- ・ 建設決定の経緯・建設の是非・建設した場合の運営予算などについて確認したい。
- ・ 小松さんにも会議案内の督促を依頼した。

(5) 会計委員の選任について

- ・ 小林さんがご苦労されているので、後任を探していたが、高 38 回の篠田さんのご紹介もあり 2 名 (高 46 回の西海さん、高 51 回の川合さん) が内定した。
- ・ 皆さんのご承認が頂ければ 5 月 24 日の幹事会で承認してもらい、その後に引継ぎを行う予定。
- ※ 全会一致で承認されたので、幹事会にて最終承認をしてもらうこととする。

(6) 縣陵レディースの今年の行事について(衣袋委員長)

- ・ 今年の方事の概要が決まった。
「東京さくらトラム(都電荒川線)の旅」秋色沿線さんぽ
都電荒川線の三ノ輪橋から早稲田まで乗車し、途中下車で飛鳥山公園等を楽しむ
- ・ 懇親会の際に、案内をする時間を作って欲しい。

(7) 母校との連携と若手開拓の状況について (二木次世代委員長)

- ・ 5月26日(月)に腰原校長と面談予定
- ・ 松本事務局の柏原さんから若手開拓について意見交換したいとの要請があり、5月6日に Zoom で意見交換した。今後、本格的に連携して活動していく予定。

(8) 三澤さんのお別れ会について(濱田)

- ・ ご家族と三澤さんのお別れ会の開催を計画している。
- ・ 詳細が決まったら改めて連絡する。

12:00 に閉会した。

以 上